

## 質疑応答の概要まとめ

令和7年2月27日（木）、3月1日（土）に開催した「山添村義務教育学校建設基本計画に係る説明会」における質疑応答の概要をまとめました。

※記録漏れ等はご了承ください。

Q 1.	プールを撤去するとのことだが、プール学習は無くなるのか。
A 1.	プールを撤去するからといって水泳学習が無くなるわけではない。学校外の施設を利用して水泳学習を実施する予定である。
Q 2.	令和7年9月から工事を開始するとのことだが、子どもたちへの説明はしていただけるのか。
A 2.	保護者の方への説明を先に実施した。子どもたちへは、今後、学校から説明を行ってもらおうと考えている。 ※令和7年3月3日（月）に小学校・中学校ともに全校朝礼で子どもたちに校名と工事の時期（中学校が小学校に仮移転することも含めて）について伝えられました。
Q 3.	中学校が小学校に移るための小学校校舎の改修はいつから始まるのか。
A 3.	小学校の授業に支障のないよう令和7年4月から部分的な改修を行っていく予定。大きな工事については、夏休みが始まってからとなる。令和7年9月から現小学校の校舎で、小学生及び中学生への授業ができるよう計画を進めている。
Q 4.	夏休みに中学校が小学校校舎に移るとのことだが、部活動はどうなるのか。
A 4.	令和7年度の奈良県中学校総合体育大会が終了するまでは、部活動で使用する中学校の施設を利用できるようにする。
Q 5.	令和7年9月以降（中学校が小学校校舎に入ってから）の部活動はどうなるのか。
A 5.	総合スポーツセンターのグラウンド使用や小学校の体育館使用などを含め、現在、検討中である。
Q 6.	配布資料の図では、工事スケジュールの流れが分かりにくい。子どもたちにもわかるような工事スケジュールをHPで公開できないか。
A 6.	子どもたちに理解してもらうことは非常に重要である。子どもたちにもわかるスケジュールを作成し示していく。
Q 7.	義務教育学校の建設に合わせて、敷地内に「放課後児童クラブ」を設置できないか。
A 7.	「放課後児童クラブ」は教育委員会の所管ではない。しかし、いただいたご意見を参考とさせていただきながら、関係課と前向きに検討していきたい。
Q 8.	小・中学校の教職員は、この建設基本計画を認識しているのか。
A 8.	この建設基本計画は、教室配置等について教職員の意見を聞きながら作成している。今後は若干の修正が出てくる可能性はある。
Q 9.	前回の説明会において、小学校の卒業式、中学校の入学式、修学旅行については、今後検討していくとのことであったが、何か議論の進展はあるか。
A 9.	行事等については、一緒にできる行事もあれば、一緒にできない行事もあるだろうと考えている。義務教育学校では、小学校の教育課程を前期課程、中学校の教育課程を後期課程と呼ぶようになる。前期課程を終える節目を重要と捉えるのであれば、進級式等を実施することも考えられる。修学旅行も同様に、学校は子どもたちや保護者の意見を聴かせていただきながら、良い方法を考えるべきだと認識している。 「儀式的行事」や「旅行・集団宿泊的行事」（小学校は「遠足・集団宿泊的行事」）は、教育課程として行っている学びである。だからこそ、様々な行事をどのような位置付けて行うのかを明確にすることが重要となる。教職員と子どもたちや保護者の皆様との対話で、どのように実施することが子どもたちにとって良いのかをしっかりと考えてほしい。

Q10. 村で一番大きいバスは全長9m程度だと思うので、バスのロータリー部分をもう少し広くしていただき、子どもたちの安全確保をお願いしたい。

A10. 配布資料には、現在、8m前後のバスで検討と記載している。通学バスの大きさを考慮に入れながら、設計会社との検討を進めていく。

Q11. グランド周囲のフェンスの高さは防犯に適した高さとなっているのか。

A11. 現在、約1m40cmの高さで計画している。防犯に適した高さについての視点を考慮に入れながら、設計会社との検討を進めていく。

Q12. 現在の中学校は草刈り作業が大変なので、可能であるならば防草シートを敷設する等の検討をしてもらえないか。

A12. 子どもたちが減るということは、保護者の方も減っていくことになると思う。PTAや地域ボランティアの方々にご協力いただき、現在、草刈り作業を行っていただいていることは認識している。義務教育学校の建設に併せてとはいかないが、検討していきたい。

Q13. 校章や校歌はどうなるのか。

A13. 本日の説明会で山添村義務教育学校の校名を「山添村立山添小中学校」と発表させていただいた。義務教育学校設立推進計画でお示しさせていただいているように、令和7年度中に義務教育学校設立推進委員会やワーキンググループ会議において、校章・校歌の検討・協議を具体的に進めていく。

現在、ワーキンググループ会議の中では、新しい学校を開校するのだから、校章も校歌も新たに考えていくという方向で協議が進められている。

Q14. 小学校と中学校が同じ施設に入るとなると、小学校と中学校の授業時間が異なってくると思うが、どのようになるのか。

A14. 現段階では明確に回答できないが、小学校と中学校の校時表については、小学校と中学校の学校間で協議していただく。

Q15. 小学校にある遊具等は義務教育学校建設に併せて移設されるのか。

A15. 小学校にある遊具の詳細な点検を行い、可能な限り移設できればと考えている。

Q16. 小学生は45分、中学校は50分と授業時間が決まっているが、小学校と中学校との協議で調整しても誤差は生まれる。授業の開始・終了等のチャイムで子どもたちに混乱が起らないのか。

A16. 各校の教職員間で協議を行っているところ。現行の小学校の校時表と中学校の校時表を比べた時に重なる部分はほとんど無い。4月までにある程度の調整が必要だが、どうしても誤差は生まれる。先日、小学校の教職員で会議を行った。そこでは、中学校が小学校に移動してくるまで（1学期の間）に少しずつノーチャイムに慣れていってはどうだろうかという意見が出た。ノーチャイムの学校を経験した教員は、子どもたちもすぐに慣れるので大丈夫だと言っている。しっかり検討する必要はあるが、区切りの時間（朝のスタート、午後のスタート等）にチャイムを鳴らすことも可能だと考えている。

Q17. 義務教育学校になるとランドセルはどうなるのか。

A17. 制服や体操服も含めて検討しているところ。

義務教育学校は令和9年4月の開校となるが、現在、こども園、小学校、中学校の保護者を対象として、制服に関するアンケート調査をしている。保護者の意見を参考にさせていただきながら、義務教育学校設立推進委員会ワーキンググループで協議を進めていきたい。ランドセルにあこがれを持つ園児が多くいると思う。そのような気持ちは大切にしていきたい。様々な選択肢がある中で子どもたちが自分で選択していくということも大事なことでないかと思うので、しっかり検討していきたい。

また、義務教育学校開校後すぐに新しいものに変えていくのではなく、移行期間を設けて保護者の皆様の負担を少しでも軽減できるようにしていきたい。